

第64号

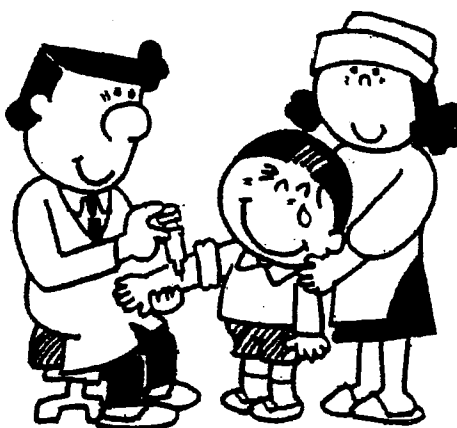
平成18年3月

子育て施設課

【予防接種のお話】

医学が進歩した現在でも、かかってしまうと後遺症を残したり、合併症を起こしたりする病気がまだまだあります。病気にかからずにすむ、もしくはかかっても軽くてすむ予防接種があるのなら受けておく方が良いと思います。

ただし、予防接種にもある程度の副作用があります。腫れたり、熱が出たり、発疹が出たりすることがあります。



予防接種の際は、主治医に良い点、悪い点、注意することを聞いたうえで接種しましょう。

どんな予防接種があるのでしょうか？

定期予防接種（無料）には、三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）、ポリオ（小児麻痺）、MR 混合ワクチン（はしか・風しん）、日本脳炎、BCGがあります。

その他の予防接種（有料）には、インフルエンザ、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）、みずぼうそう（水痘）などがあります。

予防接種は待っていれば教えてもらえるのでしょうか？

現在の定期接種は、「勧奨接種」といって義務ではありませんので、自治体から接種時期を個別に連絡することはありません。したがって健診などの際には、保健師や医師に相談したり呉市の広報誌「市政だより」を参考にされ、

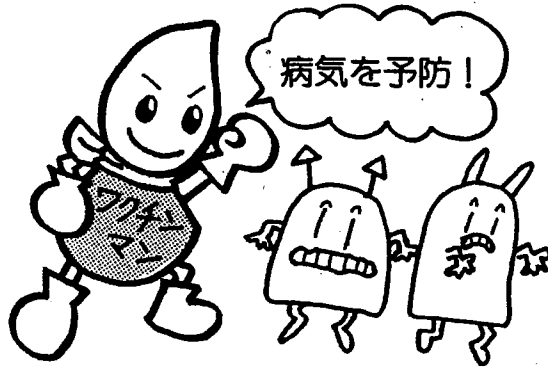
早めに接種プランを立てておくことが望ましいです。

最近、はしかや風しんのワクチンが変わると聞いたのですが？

これまで、単独で接種していた、はしかと風しんが4月から一度に接種することになりました（MR混合ワクチン）。そして入学前に二回目のMRワクチンを接種します。ただし、1歳になった子どもからです。これまで単独で接種（はしかだけや風しんだけ）の方は新しいワクチンを接種することはできません。片方だけを接種し忘れていた方に対しては、本年3月末までは、行政の補助で接種をすることができます。詳しいことは、早急に保健所あるいは主治医にご相談ください。

日本脳炎の予防接種はどうなっているのですか？

昨年春に厚生労働省から通達があり、保護者の承諾書がないと接種できなくなりました。これは、これまでのワクチンには非常にまれですが脳疾患が副作用として発症していたからです。現在、使用されていた動物の脳でなく、腎臓の細胞を用いた新しいワクチンが製造されています。理論的にはこれまでの副作用はおこらなくなるはずですが、今年の春過ぎには、新しいワクチンの供給が始まる予定になっているようです。



予防接種を受けに行く前には？

1. 子どもが健康な状態にあることを確認しましょう。
2. 母子手帳を忘れないよう持参しましょう。
3. 予診票をよく読んで記入しましょう。
4. 子どものことがよくわかっている人が連れていきましょう。
5. 予防接種当日の入浴はさしつかえないものとなっていますが、前日には入浴（又はシャワー）をさせて体を清潔にしておきましょう。
6. 接種後の当日は過激な運動は避け、接種部位はこすったりしないようにしましょう。